

糸島市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する検討報告書に対するパブリックコメントの実施結果

1 パブリックコメントの実施概要

【意見募集期間】 平成 30 年 3 月 1 日(木)～3 月 31 日(土)

【報告書の閲覧・意見箱の設置場所】

糸島市HP、各市立公民館 15 施設、市役所情報公開コーナー

【意見提出方法】

電子メール、FAX、各市立公民館/市役所据付回収箱、持参

【意見提出状況】 提出者計 25 名 50 件

提出された意見は、すべて学校規模適正化検討委員会に報告し、議論のための貴重な参考資料とさせていただきました。

2 寄せられた意見の概要と意見に対する考え方

※意見は要約して掲載しています。

	意見の概要	意見に対する考え
1	<p>1 検討（委員会設置）の背景</p> <p>たしかに教育環境にとって「学校規模」は大きな要因ですが、教育環境を考える上で教育の内容や質も、欠落してはならない観点だと考えます。</p> <p>本調査・検討は、あくまでも糸島市立の小・中学校の設置数や規模に限定していますが、教育環境つくる担い手は市だけではなく、また、教育の内容も公教育に限定するのではなく、より広い観点で、多様な教育機会を確保するための方策も、併せて調査・検討してはいかがでしょうか。</p>	<p>今回とりまとめた報告書（検討内容）は、「子どもたちに良好な教育環境を提供するためには、どの程度の学校の学校規模で教育が行われるのが望ましいか、また、それを実現するためにはどのような手法が必要なのか」糸島市全体での基準(指針)を検討したものです。</p> <p>→現行のままとします。</p>
2	<p>理想の学校が規模(学級数/1 学年あたり)の大小で決まるものなのかはよくわかりませんが、ひとつの論拠ではあるでしょう。</p> <p>「検討報告書」の中にも、児童生徒相互及び教職員間の人間関係・切磋琢磨・情報交換・相互刺激などが利点として謳われており、それにはどうしても一定以上の規模(=人数)が必要であると分析。そして、時代は急速に進む少子化と過疎化に伴い、早晩、教育現場も学校運営も窮地に立たされること必至という現状を訴えています。</p> <p>今後この少子化=児童生徒数の減少がどの程度のペースでやって来るのかはともかく、その時に慌てなくてよいように、一定の方向付けだけはきちんとやっておくのは大変重要かつ意義のあることだと思います。</p>	<p>報告書に対する修正意見ではなく、</p> <p>→現行のままとします。</p>

	意見の概要	意見に対する考え
3	<p>各小中学校の規模が「望ましいか」、「望ましくないか」適正か否かだけで判断されている。</p> <p>教育環境の観点を中心に判断されているように感じられるが、人との繋がりが薄れている現在では地域に小中学校で担う役割も重要ではないかと思う。又、逆に小中学校の存在が、地域を活性化し、魅力ある街につながると思う。</p>	<p>1 と同様。</p> <p>→現行のままとします。</p>
4	<p>糸島市は地域によって若い人が移住し子ども数が増えている。移住してよかった原因調査、また、移住したい要望調査を行い、その対策を立て、移住したい環境を作り情報発信を行うことが若い世代を呼び込み、将来子ども数の増加につながる。</p> <p>この事案は糸島市の行政の中でも最も大きな案件と思います。</p>	<p>1 と同様。</p> <p>→現行のままとします。</p>
5	<p>…委員の構成…</p> <p>小規模な学校に属する小学校及び中学校の代表が選考されていない。統廃合前提で議論するために反対意見が出ないようにしているのではないかと。選考の方法も明確にし、小規模学校対象地域からも選考し平等にしてほしい。</p>	<p>市域全体でのバランスを考慮し、委員構成しました。</p> <p>→現行のままとします。</p>
6	<p>“慎重に検討協議を重ねてきた”と述べ、委員会が開催されていますが、この報告書の中で一番直接対象となる福吉住民が全くと言っていいほど、このような委員会の存在すら認識していなかった。14名の委員の内ただお一人が公募での福吉住民の方だと知りました。この委員、公募はいつ、どのようにして決められたのでしょうか?対象となる福吉小・中のPTA、住民、関係者が含まれていないのはおかしいと思います。何故、最初に地元（福吉）住民への説明がなかったのでしょうか?遠まわしに“適正化”と表現せず“学校合併、統廃合”についてと分かりやすい表現でアンケートも行ってほしかったと思います。</p>	<p>上記同様。</p> <p>委員の公募はH28.10.1～31間で行いました。H28.10.1広報に掲載しています。この間、市HPから、また、各市立公民館に応募箱を設置しました。</p> <p>→現行のままとします。</p>
7	<p>学校規模適正化とは一番に考えられるのは子どもたちのことと思う。地域の子どものことを考え心配するそのことが一番の重要課題と理解している。今回の委員も公募とあるが小規模校地域の委員が少ないのはなぜか。</p>	<p>上記同様。</p> <p>→現行のままとします。</p>
8	<p>2 糸島市の学校の現状と将来推計</p> <p>議論の大前提がこの年少人口推計のようですが、こうならないような施策を考えることが先決ではないでしょうか。</p> <p>時代の風は結構、順風、追い風だと思います。</p>	<p>報告書に対する修正意見ではないことから</p> <p>→現行のままとします。</p>
9	<p>糸島市だけが人口減になっているが、福岡市74,938人増に対して県全体が29,588人増なら、他に人口減の市町村があるはず。この表はまるで糸島市だけが問題があるように見受けられ、意図して抽出したようにしか思えない。人口減が問題なら魅力あるまちづくりをする努力をしてはどうか</p>	<p>P5【図表4】は福岡都市圏（福岡市を含む17市町で構成）中、市のみで国勢調査数値で比較し、作成したものです。</p> <p>→現行のままとします。</p>
10	<p>3 学校規模を適正化する必要性</p> <p>規模の適正化を図ることもさることながら、地域の発展の観点から見ると、学校のない地域には移住する人もいなくなり、次第に限界集落化することになる。</p> <p>市全体のバランスのとれた発展には繋がらない。</p>	<p>8 と同様。</p> <p>→現行のままとします。</p>

	意見の概要	意見に対する考え
11	福吉校区では、従来より小学校1、中学校1で成り立っており、決して過疎化による生徒数減少ではない。最近では新築家屋・マンションが多く建てられそこに移り住む人は、自然豊かで小規模学校のきめ細かな生徒指導、学習指導の良さで移住した方々の話を聞いている。私も小規模校の良さを前面に出した地域おこしの活動を応援していきたい。	10と同様。 →現行のままとします。
12	小規模な学校のメリットも多くみられると思う。小規模なため位置づけが固定しがちで社会性が育ちにくい等は地域との連携で十分生かすことができる。むしろ小規模校であるため人間の尊厳が保たれると思う。人間としての存在感すら感じると思う。	P17【図表12】参照。 学校規模が学校教育に及ぼす影響として、メリット、デメリット両方の側面から記載しています。 →現行のままとします。
13	学校規模が学校教育に及ぼす影響がまとめられています。が、「小規模な学校」では、悪い面のみ、「大規模な学校」ではよい面のみが強調されており、著しく客観性を欠いています。定性的な比較は客観性を確保して行わなければ無意味です。比較するのであれば双方の良い面・悪い面を同数並べたうえで比較を行ってください。このような提示の仕方は結論ありきの情報操作と感じます。	上記同様。 意見総括を参照ください。 →現行のままとします。
14	小規模校・大規模校どちらにも一長一短がある。これは仕方ないことであります。生活にはつき物です。	上記同様。
15	学習指導でもよいところもあり生活指導もできる。人間関係も行事にとっても地域と連携したところで行うならば学校教育が目途としている開けた学校教育ができるのではないかと思います。教師にとっても学校教育にとってもやり方のできると思います。	上記同様。
16	生徒数が少ないと必要な授業時間に対応する正規の教職員配置等ができないとはどういうことですか。	中学校では教科担任制であることから、学校規模によっては教科教員の配置(福岡県教育委員会が配置)が厳しい現状があることを指しているものです。
17	安定した継続的な人間関係の中で安心して毎日を過ごせるというのは小規模校のメリットであると思います。 一人一人に目が届く中で自分の力を培っていくことができると思います。	P17【図表12】参照。 学校規模が学校教育に及ぼす影響として記載しています。報告書に対する直接的意見ではないことから →現行のままとします。
18	福吉は小中9年間同じメンバーで上下関係もない。部活も限られ部員不足で悩む時もありました。もっと部員がいたら競争心が芽生え刺激になるのに……。勉強も同じです。しかし、その悩みよりも大きな愛情、絆が福吉にはあります。子どもたちは少人数のため、先生方からはもちろん、地域の方々からも支えられ、いつも見守られ成長しています。一長一短、確かにあります。難しい問題です。しかし、このような小さな小さな学校ですが一人一人が大切にされた環境の中で子育てが出来て私は幸せです。	意見総括を参照ください。 →現行のままとします。

	意見の概要	意見に対する考え
19	<p>(2)学校規模に関する保護者・児童生徒・教員の意識 …(7シート結果)</p> <p>保護者も児童・生徒も、学校規模に関わりなく、現状で「ちょうどよい」という回答が最多です。にもかかわらず、9ページでは、小規模校の回答では「もっと多い方がよい」、大規模校の回答では「もっと少ない方がよい」が色付きで強調されています。</p> <p>また、10ページでは、『特に小学校では小規模校の「ちょうど良い」の回答割合が低くなっています。また、小規模校では「もっと多い方がよい」、大規模校では「もっと少ない方がよい」の回答が保護者、教員では割合が高くなっています』と、学校規模間の比較を行っています。つまり、保護者や児童・生徒で「ちょうどよい」と回答している人が最大数であることを無視したまとめ方になっています。これでは、アンケート調査をした意味がありません。アンケート調査をしたのであれば、その結果を客観的に評価すべきです。結論ありきの報告書のように見えます。</p>	<p>P9・10 は学校規模による意識調査の比較（傾向）をしています。</p> <p>例) P9小学校では、学校規模での意識調査結果を記載していますが、全体でみた場合、小規模校では、標準規模校や大規模校と比較した場合、「ちょうど良い」の割合は、標準規模校や大規模校より低い傾向にあり、逆に「もっと多い方がよい」の割合が高い傾向にあることを示しているものです。</p> <p>→現行のままとします。</p>
20	<p>保護者、児童生徒ともに小規模校は「ちょうど良い」が%が高いのに、他の規模校と比較して%が高いことが強調され過ぎている。小規模校を合併させようという意思を感じる。</p> <p>福吉小学校、中学校の卒業生ですが、合併してなくなると寂しい気持ちになります。もっと時間をかけて慎重に決めてほしいと思います。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
21	<p>まず児童・生徒の意識がもっとも優先されるべきだと思うのに、異なる規模の学校の現状が把握できないというところがおかしい。もし少ない生徒だと嫌だ、もっと多くの生徒と学びたいと思うなら、もっと顕著な結果が出ると思います。</p> <p>次に保護者の意識でも小中学校の小規模校では「ちょうど良い」との回答が多い。小学校の小規模校の意見で「多い方がよい」という意見も増えているが。表やグラフの見方が偏っているように感じる。</p>	<p>→ P19 参照。</p> <p>個別に出向いての説明は行っていません。調査検討にあたりサンプル調査を実施しました。学校を通じ、配布、回収、集計したものです。</p> <p>→現行のままとします。</p>
22	<p>保護者では小規模校は他と比べ「ちょうど良い」数値が低くなっているが、小規模校での結果は、「もっと多い方がよい」より「ちょうど良い」のポイントが高くなっており、それは、児童生徒のポイントはより顕著である。これは、子どもたちにとって現状維持を望む声が高いと言える。それなのになぜ、適正化すべきとし、小規模校解消へと道筋を立てるのか疑問である。</p>	<p>例) P20 中段 丸囲み欄を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
23	<p>小規模、標準、大規模ともに「ちょうど良い」が大半ですが、標準では「もっと少ない方がよい」となっている。意見集約は小規模校の合併ありきのまとめ方です。</p>	<p>P22 丸囲み欄を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
24	<p>小・中学校のPTA役員に尋ねてもそのようなアンケートに答えた記憶がないとの返事だった。どのような説明をされたのか疑問に思う。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>

	意見の概要	意見に対する考え
25	<p>「特に小学校では小規模校の「ちょうど良い」の回答の割合が低くなっています。」とありますが、そもそも小学校・中学校ともにすべての規模において保護者、児童・生徒では、「ちょうど良い」と答えた人の割合が最も高くなっているという客観的事実が無視されています。また、中学校の保護者では大規模校よりも小規模校の方が「ちょうど良い」と答えた割合も多くなっています。P9の中学校の保護者の回答では中学校において「ちょうど良い」との回答が全体のおよそ2/3を占めておりますが、このような事実には一切触れられていません。</p> <p>同様に信頼性を欠いた結果はP19～36のアンケート結果の分析にも見られます。例えばP20の学校別学級数への意識アンケート結果では「小規模校のうち、長糸小、一貴山小を除く5校で「もっと多い方がよい」の回答が「ちょうど良い」の回答を上回っている」とありますが、35.8%と37.7%などの僅差を単純に比較しており、統計的に有意な差であることは確認できません。著しく信頼性を欠いた分析結果です。</p> <p>教員・教育委員会の立場やアンケート結果の「理想と思われる学級数について」だけに注目しているのであれば、その旨を報告書の先頭で明示してください。そうでないのであれば、表に色付けや文字による強調を行うのではなく、客観的な比較と事実の抽出、また、有意な差であることを確認できる形を報告してください。</p> <p>以上のような観点から、P14の「アンケート結果を踏まえ」た「望ましい学校規模」が著しく客観性・信頼性を欠いた有効性の低いものであると認められます。</p> <p>施策を議論するに足る客観性・信頼性が担保された分析を提示したうえで施策の議論を行うことを強く望みます。</p>	<p>例) P9 保護者【図表7】 小学校ではちょうど良いの割合は、小規模校では標準/大規模校と比較した場合、その数値は著しく低く、一方で、もっと多い方が良いの割合は高くなっています。</p> <p>→現行のままとします。</p>
26	<p>(「現在の1学年の学級数への意識」についての保護者および児童・生徒からの回答)と同じことが言えます。特に中学校では、保護者も生徒も全校で現状が「ちょうどよい」とする回答が最多です。しかし、まとめの言葉はそのことを無視し、小規模校は規模を大きく、大規模校は規模を小さくすることだけに注目した内容、たとえば『規模が小さくなるほど「もっと多い方がよい」の回答割合は高くなっている。一方で、規模が大きくなるほど「もっと少ない方がよい」の割合は高くなっている』になっています。</p> <p>アンケート調査をしたのであれば、その結果を客観的に評価すべきです。アンケートでどの回答が最多であったかを無視してまとめているので、このアンケート調査は「当事者の意見も聞いた」というアリバイ作りのために行っているように見えます。もっと当事者の意見に敬意を払い尊重すべきです。少なくとも厚労省の裁量労働制の労働時間データと似たようなことにならないようお願いします。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
27	<p>小規模校7校のうち、2校は「ちょうどいい。」と回答している。小規模校ならではの良さも感じている保護者もいるのでは。</p>	<p>→現行のままとします。</p>

	意見の概要	意見に対する考え
28	<p>全体を通して感じるのはアンケートの取り方に対しての明確な方向性を示してからのアンケートではないように思えてなりません。このアンケートの結果次第では具体的に他校との合併があるということ踏まえてからの問いかけでもよかったのではないかと。それを前提としてなら、アンケートの結果も変わってきているように思えます。とにかく、小規模地域の学校関係者全員に公平にアンケートを取るべき。やり方がおかしいと思います。実際、福吉の大多数の人はこのこと（アンケート）を知りません。このままだと知らないうちに合併決定になると思うと怖いです。</p>	<p>→ P19 参照。 個別に出向いての説明は行っていません。調査検討にあたりサンプル調査を実施しました。学校を通じ、配布、回収、集計したものです。</p> <p>→現行のままとします。</p>
29	<p>以上の資料を拝読すると「学校規模を適正化する」とは学校を統合するという事と思いました。（私の住んでいる地域では通学区域の変更は難しいと感じます。）一方、上記の様に地域で生徒を育てていく取り組みと統合では言っていることに齟齬が生じます。また防災の観点からも災害時の生徒の引き渡しや災害対策等を考えると、家から学校までの距離が遠くなる事や生徒数が多くなるほど困難な問題が増えます。「適正化する」と「統合する」ということがこのアンケートで保護者の方がどれだけ意識されたでしょうか。</p> <p>地元で学校がなくなるかも母校が消えるかも意識しなければこのアンケートの意味が伝わらないと思います。</p>	<p>28 同様。</p> <p>→現行のままとします。</p>
30	<p>将来、実際に通うことになる現在、未就学児がいる家庭にも説明をした方がいいと思います。このような案が計画されていることを知らない方が多数います。</p> <p>スクールバスも必要と思いますが、自転車でも通学できるような安全な道を確保してくれたらと思います。</p>	<p>28 同様。</p> <p>→現行のままとします。</p>
31	<p>本資料によると平成 28 年度の児童生徒数は 8,481 名であり、この人数に保護者及び教職員数を加えた数に対してアンケート対象者（回答者）は 2,672 名では、総数の 15%にもならないのではないかと。少数意見とも思える数字をあたかも総数に対する割合としていることは間違っている。また、今回のアンケート対象者はこのアンケート内容をどのくらい理解して回答しているのか、更に検討委員会及び教育委員会は内容を説明し理解させたのか、返答を求めます。</p> <p>委員会と教育委員会の方々には本当に生徒児童や地域・保護者のために議論されていますか。このアンケートを知らない人が多数いる中、勝手に統廃合の話題までされており信用ができない。母校が望ましくない学校であったり廃校になった場合の生徒児童・地域・保護者の気持ちはお考えでしょうか。</p>	<p>28 同様。 意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
32	<p>5 適正化に向けた方策検討で配慮すべき事項</p> <p>適正規模については理解するのですが、報告書にもあるように学校には多面的機能とでもいうべき役割もあり、また、地理的な条件は改善のしようがない面もあります。「適正規模」という視点のみでない対応を望みます。</p>	<p>→現行のままとします。</p>

	意見の概要	意見に対する考え
33	<p>福吉・鹿家から深江まで歩くのは大変です。電車はよく止まりますし、災害時のことを考えると歩いて迎える距離であることは重要です。</p> <p>地域の中心としての学校の役割も非常に大切だと思います。神楽など地域の伝統の継承も学校がなくなれば難しいと思います。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
34	<p>どの校区の人々も皆同じ思い＝「我々は〇〇小学校・〇〇中学校で学んで育った」と。自分の卒業校が統合(特に閉校)の照準の先に置かれているものならば尚更でしょう。「検討報告書」にもあるように「校区」の名の下、小・中学校(幼稚園・保育園も)は地域のシンボルであり、災害時の避難先として各種イベントの会場として機能しており、広く地域住民共通(共有)の拠り所となっていますので、閉校止む無しとなった場合にも卒業生・地域住民のアイデンティティを踏み躪るような結果になってしまわないように、特に商業的利潤追求のみの手段と化してしまわないようお願いしたいと思います。</p> <p>出発点はこの再統合を通して、今よりも更に良い学校の創造となり、児童・生徒の能力・可能性を更に高めていくのだという確信があり、強い意欲をもって教育行政を推進していくという精神に私たちは承服(＝納得)し共感するのだと思います。</p>	<p>→現行のままとします。</p>
35	<p>生徒数の増についてはあまり話し合われてないようだが学校があるかないかで過疎地化が進むように思う。学校はその土地の「シンボル」と思う学校は是非存続が必要と思う。</p>	<p>最終頁を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
36	<p>6 学校規模を適正化(望ましい規模へ)すべき範囲 (2)適正化すべき学校の範囲</p> <p>小学校、中学校を一緒にグラウンドで一貫校とした場合は、地域文化・習慣等コミュニケーションが継続され将来に伝えることができる。また、小規模校では生徒一人一人の把握ができ、指導しやすいと思われる。先生や地域の住民が一体となって子どもをフォローできる。空いた校舎は別の目的で使用でき地域活性化を図ることができる。</p>	<p>→現行のままとします。</p>
37	<p>7 適正化の具体的手法</p> <p>優先順位は子どもの安全です。現在でも3駅をまたいでの通学です。更に遠いところまで行くとすると保護者の負担も増えることになり、子どもたちにも目が行き届きません。</p>	<p>P40・41 に適正化を進めるうえで配慮すべき事項を記載しています。</p> <p>→現行のままとします。</p>
38	<p>小学校2～3学級、中学校4～5学級は理想ですが、福吉の場合、大変難しいことです。もっと多い方がいいとは思いますが、理想と現実の違いはあります。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
39	<p>福吉中と二丈中の合併ありきのまとめ方に感じている。</p> <p>他の住民の意見や今後の人口の推移等もっと多方面から検討するべき。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>

	意見の概要	意見に対する考え
40	<p>福吉小・中学校は隣接する学校とも離れており、統合は無理と思われる。</p> <p>小学校から中学校へそのまま進級してきました。学年の全生徒の名前は覚えていますし、少人数なりに協力してやっています。競争意識がないとよく言われますが、情報社会のこの世の中、高校生或いは社会に出て、徐々に身につけていけばいいと思います。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
41	<p>8 取り組む優先順位</p> <p>現在、福吉小学校に在籍しています。</p> <p>保育園時代を含めると子どもにとっては合計13～14年間、大きな環境変化がなく同一クラスという状況です。</p> <p>以前から単一学級に対して、様々な不安や不都合を抱いていたので、優先的に考えていただいて大変うれしいです。</p> <p>是非、実現に向けて取り組んでほしいです。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
42	<p>糸島市への合併後、福吉校区はどんどん寂しいものになってきております。当然小規模校は運動会など人数が少なく盛上がり少し欠けますが地域の方々の協力により何とかなるのではないのでしょうか。地域の活性化をもっと進めていく必要があると思います。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
43	<p>小学校、中学校の体育祭で行ってきた合同の競技等ができなくなり地域のつながりが薄れてくるのではと不安に思う。</p> <p>学校がなくなることで過疎化も進む。</p>	<p>報告書に対する直接的意見ではないことから</p> <p>→現行のままとします。</p>
44	<p>9 適正化を進めるうえで配慮すべき事項</p> <p>ここで書かれているとおり、学校は地域コミュニティとの関わりは非常に大きいと考えます。適正化によって小規模校が解消される地域は、人口減少が進行する地域でもあることが考えられますが、小規模校の解消によって、さらなる人口減少を加速させ、過疎化を引き寄せる結果になるのではないのでしょうか。こうした問題意識からも、小規模校の解消によって生じる廃校や空き教室を、民間の学校法人や NPO 法人などによる小中学校、高校、フリースクール、幼保施設などの誘致し、開設を支援することで、多様な教育機会を確保する場として活用するとともに、地域コミュニティの活性化や地域外からの移住を促すことも検討してはいかがでしょうか。</p>	<p>1 と同様。</p> <p>→現行のままとします。</p>
45	<p>具体的に校区が定まらないと現実的な意見は述べられませんが、スクールバスの導入やコミュニティバスの活用はできないのかなと思います。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
46	<p>通学区域の見直しについて</p> <p>福吉中学校は1学年1学級から2学級で少なく、部活動等考えられる問題点が挙げられると思うが、では、現実を考えると、通学道の整備が最重要課題であると思う。二丈中へ通うとなると国道に歩道がなく、海岸線で道路が狭いため、自転車を通うのはとても危険が多い。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>

	意見の概要	意見に対する考え
47	<p>その他</p> <p>子どもたちが通学(登下校)の中で、地域となじんだり本人の原体験にもなると思うのです。中学の部活はそれのみ送迎バスで、クラブチームのようにできないか。</p> <p>小中学校が亡くなる(失くなるでなく)、引っ越してくる人もいなくなるので、寂れると、近所では不安がっています。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
48	<p>法令、学校教育法等も大変大事で必要と思うが、もっと大事は子どもたちがどのような教育を望んでいるのか。小規模校の親がどう思っているか。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
49	<p>生徒数が将来にわたって減少していくことが避けられない中、市内全域全て標準規模校に収め、維持していくことは不可能であります。そこで、福吉、二丈、志摩中は小中一貫校として再スタートして同学年の横の社会性を養う+縦の社会性を学ぶ学校として生まれ変わらせたらどうでしょう。スポーツ、勉強面においても小・中一貫で高校・大学受験を見据えた計画的なカリキュラムが組めると思います。これは、競技数は増やせませんが、スポーツにおいても同じです。</p> <p>通学距離が伸びますので、昭和バス、コミュニティバス等を利用してスクールバスを運行することで解消されます。</p>	<p>意見総括を参照ください。</p> <p>→現行のままとします。</p>
50	<p>私は今現在では賛同できません。</p>	<p>→現行のままとします。</p>
<p>◆◆◆パブリックコメント全般に対する検討委員会としての意見総括◆◆◆</p> <p>検討委員会では、これまで「子どもたちに良好な教育環境を提供するためには、どの程度の学校の学校規模で教育が行われるのが望ましいか、また、それを実現するためにはどのような手法が必要なのか」について糸島市統一した基準(指針)を作成するため検討・協議しました。</p> <p>これまでのいずれの会議の場においても、「○校と△校を統合する(するべき)。」或いは、将来的に「▲校を廃校する(するべき)。」ことを前提とした議論は行っていません。</p> <p style="text-align: center;">糸島市学校規模適正化検討委員会</p>		

今回、報告書に対するパブリックコメントを実施したところ、地域による意見回答の偏りが顕著に表れる結果となりました。

これは単に個人からの意見に留まらず教育行政に対する地域全体からのご意見であるものと受け止めております。

今後、検討委員会による検討報告書を受けた後、糸島市教育委員会では具体的な実施方針を作成することとなりますが、報告書(案)(P40～P41)適正化を進めるうえで配慮すべき事項として5項目挙げていますように、実際に適正化を進めるにあたっては、一方的に進めるのではなく、地域の皆さんに対する丁寧な説明を心がけ、地域の話をつないながら真摯に対応してまいります。

糸島市教育委員会